

般質問

(9) 高島市議会だより 31号

平成23年10月28日

重要なことは、自分たちの足元（高島市）が市外の方たちからどのように見えているかをしつかり分析し把握することであると考えます。当局は、高島市がどのように見えているのかの調査研究はされているのか。またどのよう見えていているのか問います。

問 温暖化等の影響で、降雪量が年々減少しています。そこで、市の所有である朽木スキー場の、夏場利用を真剣に考えるべきと考えますが、当局の考え方を聞きます。

問 結果はいつ公表す

答 1、000余りの全事務事業について担当部署、他の部局の検証班、市長・副市長が順次評価を行い、その結果に基づき各担当部署が「改善計画」を作成しています。

問 より評価するのですか。

答 必要があることから実施しました。

**問** 活かしていくのですか。  
**答** 市総合計画の実施計画や予算編成に反映させます。

**問** 予算編成との関連性はないのですか。  
**答** 総務部長

内部事業評価の結果を次年度予算に反映で  
きるよう調整します。

**問** 職員の政策形成能  
力を高めることにつな  
がらないのでですか。  
**答** 職員自らが事業評  
価を行うことから政策  
形成能力を高めること



市内に56ヶ所指定されている広域避難所

問 避難所の徹底はできていますか。  
答 避難所運営マニアルを定めており、避難所配置職員、施設管理者者、ボランティアが連携して運営します。

事業平野

前一  
力  
義

10 of 10

問 今後、どのように進めるのですか。	答 政策部長 今後は内部評価と外 部評価を効果的に組み 合わせて実施し、事務 事業の改善を図ってい きます。
問 避難所の速やかな 解錠は誰がするのです か。	答 施設の管理者です が、休日や夜間は地区 本部の避難所班の職員 が解錠します。
問 避難所と災害対策 について	答 につながるもので す。食糧物資の更新作業を 考えると防災センター での備蓄が適切と考え ます。



保健センターに配備されている安定ヨウ素剤

般質問

高島市議会だより 31号(8)

**問** 大震災と原発事故は住民の命・暮らしを守ることを行政の基本に据える必要性を提起しているのでは。

**答 防災監** 自然災害や放射能の恐ろしさを再認識し、引き続き市民の命と暮らしを守るため、最大限の努力を払つてまいります。

**問** 甲状腺被曝を最小限に抑える安定ヨウ素剤を学校や避難所で服用できる体制を。

**答** 安定ヨウ素剤の服用は基本的に各保健センターを考えています。

る収容能力がありま  
ん。特にマキノ北地区  
の避難所である道の駅  
の収容人員は37人と極  
端に少なく、住民は避  
難出来ません。その解  
決のために北小学校を  
広域避難所に指定でき  
るよう裏山の砂防対策  
を。



かな自然を感じる高島トレイル

## 市防災計画見直しにあたって

栗津まり 議員

作成が必要と考えてお  
ります。

**問** 広域・一時避難所の耐震状況はどうですか。各区集会所の耐震

## 高島市の観光への視点

澤本長俊議員

澤本長俊議員